



あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。

(ルカによる福音書6章36節)

Therefore be merciful, just as your Father also is merciful. (Luke 6:36)



苦難は練達を、練達は希望を

わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。



—コ—マの信徒への手紙5章3～4節—
九州学院院長・チャプレン 小副川 幸孝

この夏、本学院の野球部(高校)が7年ぶりの甲子園出場を決め、まことに嬉しい限りで、お支えをいただいていますことを心から感謝しています。この甲子園大会出場を決める熊本県予選の開会式で野球部の主将が上記の言葉を引用して素晴らしい宣誓をしました。今回の甲子園大会出場ではいろいろなことありましたが、この言葉は、今も、生きて働いている言葉だとつくづく感じています。

コロナウイルスの感染もなかなか止まらず、ウクライナでの戦争も続き、社会状況は不安定に揺れ動いています。それに伴う諸物価の上昇は、わたしたちの生活を直撃し、将来のことを見据えることも難しくなりました。しかし、その中で、野球部だけではなく、多くの部活動では全国優勝などの活躍がなされましたし、毎日学校で勉学に励んだ生徒もいました。先生方も協力を惜しみなく発揮して下さいました。9月には、短縮の形で出場制限もありましたが、3年ぶりで「体育祭」を開催し、生徒たちの笑顔がはじけました。

たとえ状況が最悪だったとしても、自分の歩みを一つ一つ続けることの大切さを聖書は教えます。この聖書の言葉を書いたパウロも決して安楽な人生を歩んだわけでもありませんでした。しかし、彼は、神が必ず導かれることをイエス・キリストを通して確信し、この苦難は希望につながることを「わたしたちは知っています」と語り、「わたしたちは落胆しません」、「四方から苦しめられても行き詰らない」と語りました(コリント2 4:16-4)。

大事なことは「道は開かれる」と信頼して、今を大切にすることでしょう。聖書はそうした人間の在り方をわたしたちに教えています。

九州学院体育祭 3年ぶりに開催!

～中高別日程で実施 大いに盛り上がる～



9月10日(土)に九州学院グラウンドにおいて九州学院高等学校体育祭2022が、同14日(水)にパークドーム熊本において九州学院中学

校体育祭2022がそれぞれ行われました。新型コロナウイルス感染症状況を鑑みて一昨年度の体育祭は中止となり、昨年度は直前まで準備を進めていたもののやむを得ず中止の決断をしたことから、今回の体育祭は3年ぶりの開催となりました。今年度も感染者数が過去最多を更新する第7波のなかにありましたが、生徒会を中心に開催方式やプログラムを変更してでも体育祭を実施したいという熱い思いが寄せられて、開催が実現しました。感染リスクを抑えるために昼食を挟まない短縮日程とし、そのなかで出場機会を確保することなどの趣旨から今回は中高別日程での分離開催となりました。体育祭実行委員会で決定した今年度のテーマは『戮力協心』で、互いに心を合わせて一致協力して物事に取り組むことを表します。さまざまな感染防止策を講じつつ、生徒たち

は一大学校行事であり青春期の貴重な思い出となる体育祭ができたことの喜びを競技や応援にあたるなかで表現する姿がみられ、会場は終始大盛況でした。今回の開催にあたりましては、九州学院みどり幼稚園(こども園)園児のプログラム割愛や、高等学校体育祭では来場者数の制限を行わせていただくなど、多くのご関係の皆さまにご理解とご協力をいただきました。従前の体育祭とは異なるものとなりましたが、このように開催が実現できましたこと、皆さまに深く感謝申し上げますとともに、引き続きご理解とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。体育祭当日には九州学院学生会からミネラルウォーターが生徒全員に配布されました。



ネブラスカ州立大学カーニバル校とパートナーシップ協定を締結

～語学研修・指定校推薦を開始～

アメリカ合衆国中部ネブラスカ州立大学カーニバル校との夏季語学研修プログラムの実施される予定です。また、九州学院高等学校3年生を対象にした、同校への指定校推薦による入学も2023年度在生から可能となります。なお、今回のパートナーシップ締結に際して、カーニバル市長・同市警察署長からも支援の約束をいただけることが発表されました。

アメイジング・グレイス

中高校長 阿部 英樹

かつて朝礼で、この曲の楽曲Hymnsを流したことがあります。その当時、街のいたるところで、この曲は流れていました。朝礼前夜、何度も聞きながら、歌詞にある「あなたをイエスさまに置き換えると、胸にジンと迫ってくるものがあり、まるで讃美歌を聴いているように癒されまし

ら、感動を朝礼で話したのは、20年以上も昔のことです。その後も朝礼時の選曲を続けたことを、懐かしく思います。そして今、キリスト教の教えが少しも分りやらずに伝わり、本を願ひながら、ある時には絵本を用いたり、本や詩の一節、また人物を紹介したりします。

10月の朝礼ではアメイジング・グレイス(驚くべき神の恵みの動画を流しました。ドラマやコマーシャルの中でもよく耳にする曲です。しかし、その歌詞の意味や作詞者のことは、あまり知られていないようです。

作詞者の英国人ジョン・ニュートンは、6歳の時に、熱心なクリスチャンの母親を亡くします。彼は、学校を卒業して奴隷貿易に従事しますが、ある時の航海で、暴風雨に見舞われて難破しかけています。その時には、積み荷などを捨てることでも何とか難を逃れました。しかし、次には水と食料が尽きる状況に追い込まれます。沈没しかけた時に、積み荷を海に投げ捨てたからでした。誰もか死を覚悟して万事休すと思えたその時、奇跡が起こります。荒れ狂った海が一瞬穏やかになり、近くに陸地が見える所まで、船が流されていったのでした。

九死に一生を得た彼は母の信仰を思い起こします。そして30歳の時、奴隷船の船長の職を辞して、牧師として献身するのです。1779年、自分の信仰を、我をも救いし奇しき恵み、迷いの身も今、立ち返りぬ(讃美歌第二編167)という歌詞に込め、アメイジング・グレイスを書き上げました。その後、美しい旋律を伴って、今では日本でも最もなじみのある讃美歌の一つになっています。

私たちに、このニュートンのようにいつでもやり直す機会が与えられています。しかし、それは一人ではできないことはありません。彼が心を入れ替えたのは、信仰深い母を思い出したことがきっかけでした。いつも見守り、手を差し伸べてくれる伴走者を心の中に得て、彼のように前に進むことができるのです。

毎日まかされている教育の種が、一人ひとりの心の中で芽生え、将来何かの時に癒しとなり、あるいは希望や勇気となって、人生を導く活きた力になりますように。聖書を通して繰り返し語られた言葉や祈り、讃美歌の歌詞やメロディーが、私たちの歩みの伴走者となってくれることを願っています。

全国優勝!

- 〔高校剣道部〕 全国高校総体 剣道競技 男子個人戦 高島壮右馬選手(3年)
- 〔同〕 第93回 玉竜旗剣道大会 男子団体戦(10回目)
- 〔高校水泳部〕 全国高校総体 水泳競技 男子200m自由形 森本勇氣選手(3年)
- 〔同〕 全国高校総体 水泳競技 男子1500m自由形 仲光陸遥選手(2年)
- 〔中学剣道部〕 第52回全国中学校剣道大会 男子団体戦(5大会連続10回目)



仲光陸遥選手 森本勇氣選手 高島壮右馬選手

今夏に開催された全国大会でも、数多くの九州学院の高校生・中学生が活躍しました。

7月29日(金)、福岡市の照葉積水アリーナで3年ぶりに開催された第93回玉竜旗剣道大会男子団体の部で、高校剣道部が10回目の優勝をたたしました。高校剣道部は8月8日(月)に高知県立春野総合運動公園体育館で行われた全国高等学校総体体育大会剣道競技男子団体戦決勝トーナメントで3位入賞と健闘。さらに同6日(土)に同所で行われた男子個人戦決勝が実現。その結果、高島壮右馬選手(3年)が優勝し、中尾王真選手(3年)が準優勝となりましたが、九州学院剣道部の強さを象徴する一戦となりました。

先輩たちの活躍に刺された中学校剣道部も見事な活躍をみせました。8月20日(土)、北海道釧路市の湿原の風アリーナで開催された第52回全国中学校剣道大会男子団体戦では5大会連続10回目の優勝をたたしました。また、翌21日(日)に同所で行われた男子個人戦でも、中村文次郎選手(3年)が準優勝。見事な成績を残しました。

全国高校総体では水泳部(競泳)も好成績を連発しました。8月15日(月)〜18日(木)に高知市東部総合運動場くろしおアリーナで開催された競泳競技では、男子200m自由形決勝で森本勇氣選手(3年)が見事優勝。森本選手は男子100m自由形決勝でも6位入賞をたたすとともに、アンカー

として出場した男子4×200mフリーリレー(若杉・中川・仲光・森本)でも猛追してチームの4位入賞に大きく貢献しました。また、同リレーに出場した仲光陸遥選手(2年)も男子1500m自由形決勝で優勝する見事な活躍をみせました。水泳部では女子200mバタフライ決勝で長森流楓選手(3年)が3位入賞、女子800m自由形決勝で瀬津菜々美選手(3年)が5位入賞と活躍しています。

自転車競技部も全国高校総体で活躍しました。8月4日(木)〜7日(日)に香川県の高松競輪場などで開催された自転車競技では、男子チーム・パシシュート(福永・徳永・並江・船津)で準優勝、男子3kmインディヴィデュアル・パシシュートで優勝、男子4km速度競走では徳永真輝選手(3年)が3位入賞、男子1kmタイム・トライアルでは福永隼人選手(3年)が7位と各出場選手が結果を残し、学校対抗得点での4位入賞に貢献しました。

高校柔道部も松山市の愛媛県立武道館で開催された全国高校総体柔道競技個人戦に男女計4人が出場。うち、男子100kg超級で牧野泰晟選手(3年)が準優勝、男子81kgで高井陽平選手(3年)がベスト8と活躍しました。

その他、全国高校総体の競技ではハンドボール部が3回戦、バスケ部が2回戦に進出。空手道部、陸上競技部、ボクシング部も主に個人種目に4階級に出場しました。

高校・野球部 夏の甲子園でベスト8!!

『平和を造り出す』

高校野球部は阪神甲子園球場で開催された第104回全国高等学校野球選手権大会に熊本代表として出場しました。熊本大会を優勝して夏の甲子園に出場するのは7年ぶりとなります。開幕前に本校野球部が新型コロナウイルス集団感染との判定に際しては皆さまにご心配をおかけしました。また、日本高等学校野球連盟は大会期間関係者の皆さまには本校が会場であるように日程等で格段のご配慮をいただきました。

高校野球部は、吹奏楽部の演奏に合わせ、最後の演奏に合わせ、選手たちを応援しました。今大会出場にあたりましては、たいへん多くの皆さまに現地または遠くからのご声援をいただきました。また、募金へのご協力ならびにご寄付等をたたまりましたこと、また激励の言葉を頂戴しましたことにあため厚く御礼申し上げます。愛と憐れみに富み、もう主なる神さまが、今なお多くの争いが絶えずある中、平和を造り出す。その人たちは神の子と呼ばれる。【新約聖書(新共同訳)「マタイによる福音書」5章9節】



日本国内の多くのキリスト教会では8月を「平和をおぼえる月」としており、九州学院でも例年8月に自由参加の平和礼拝九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにて執り行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度も一堂に会しての平和礼拝はできませんでしたが、教職員はじめ学院関係者はそれぞれの場で平和を祈り求めました。愛と憐れみに富み、もう主なる神さまが、今なお多くの争いが絶えずある中、平和を造り出す。その人たちは神の子と呼ばれる。【新約聖書(新共同訳)「マタイによる福音書」5章9節】

2015年から「九州学院ナルドの壺基金」に組み入れて継続しているものであります。今年度の育英奨学金支給対象者は中学生3人と高校生3人が選ばれ、小副川幸孝院長と青山正志同窓会育英奨学金委員長が激励の言葉を述べて、認定証と奨学金を手渡しました。

合同進学相談会を開催

6月24日(金)13時30分〜17時(15時までは保護者のみ対象。その後、は生徒・保護者対象)九州学院3号館ホールほかにおいて、進路指導部主催による合同進学相談会が自由移動形式で開催されました。

今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から入場制限を行い、生徒(希望制)の参加については高校3年生としました。また、各ブースの人数制限や消毒の徹底など十分に配慮して行いました。

今回は約30の大学や短期大学、看護・医療系の専門学校に参加していただき、アピールポイントの説明や個別相談など、絶え間なく生徒・保護者の対応をさせていただきました。

参加した生徒や保護者は、それぞれの進路

高校入試説明会を開催(3年ぶりに県立劇場で)

8月17日(水)午後1時から熊本県立劇場で、2023年度九州学院高等学校入試説明会を3年ぶりに同所での時期に開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、参加者を中学生3年生に限定して実施させていただきました。

司会進行は放送部員が行い、来海涼友高校が進行、来海涼友高校が披露されました。

約2時間の短い時間ではありましたが、本校の特徴や魅力が参加していただいた皆さんにお伝えできました。らば嬉しく思います。

(※吹奏楽部とチアダンス部はこの日、甲子園での高校野球応援の一員として関西に滞在していたため、入試説明会には事前撮影した映像での参加とさせていただきます。



九学同窓会だより

最多本塁打56号
史上最年少三冠王

ヤクルト村上宗隆内野手(S70回)

プロ野球の東京ヤクルト村上宗隆内野手(S70回)が、なんとシーズン最終試合の最後の打席で56本目の本塁打を放ち、王貞治選手を抜いて日本選手最多本塁打手(S70回・2018年)に輝いた。また、18年ぶり、



写真提供:日本放送協会 / 2022年10月3日

南洋に散った画家
笠秀雄氏(旧18回)の遺作展



現在、菊池市泗水町の資料館「菊池飛行場ミュージアム」で、故笠秀雄氏(旧18回卒)の遺作展が開かれています。

笠氏は太平洋戦争の激戦地、ブーゲンビル島(現パプアニューギニア)で戦病死した菊池市出身の画家で、多くの作品を残しています。

笠氏は1914年に菊池市広瀬で産声を上げ、来民小学校を経て旧制九州学院中学校で5年間学び、1933年に卒業しました。帝国美術学校(現武蔵野美術大学)に進んだ後、菊池郡泗水西部尋常高等小学校・国民学校の教壇に立っていましたが、1939年に応召されました。しかし、中国、南方での過酷な兵役の間にも笠美波(みは)のペンネームで詩を綴り、スケッチのペンを走らせ、30歳の若さで1944年にブーゲンビル島で戦病死するまでの5年の間その作品を故郷に送り続け、人々に勇気と感動を与えました。

遺作展は「花房(菊池)飛行場の戦争遺産を未来につたえる会」主催で、展示期間は来年の2月頃までの予定です。開館時間は午前10時～午後4時(無休)で、入館料200円となっています。



り、優勝決定戦では超強豪の愛知県を破って感動的な優勝を果たしました。益本選手は九学から琉球大学に進学し卒業後も沖繩に住んで

ています。自身で開発した「一度描いたら忘れないノート」術で起業。国体前には弓道の錬士の試験にも挑み170人超の中で3人だけの合格という難関を突破し、九学弓道部卒業生として初めて国体優勝と錬士合格を成し遂げました。



勝っていました。まさに逆転の素晴らしい勝利で挑戦者を退けました。森崎氏は6歳の頃に将棋を始め、九学時代には全国大会に出場するなどの活躍をしまし

た3番勝負第1局で先手の計29人がトーナメントで競い合った今期は、沖崎五段が挑戦権を獲得した2日に指した



「東京九学会総会・懇親会」新卒30人
7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

「九学同窓会だより」文責・小手川 勲

最後は井澤浩一氏(S6回)の指揮、尾上賢氏(S6回)のリード、岩下真麻氏のピアノ伴奏という豪華メンバーと共に参加者一同で九州学院校歌を斉唱、片岡茂元応援団副団長(S32回)のメール(70年代スタイル)で、コロナ禍を吹き飛ばす明るいムードに満ち溢れる素晴らしい同窓会をお開きとしました。

「お知らせ」
同窓会拡大正副会長会議(9月28日)、常任幹事会(10月3日)での審議の結果、2023大同窓会総会・懇親会を4月21日(日)に開催することが決まりました。また、同窓会若手の会主管2023チャペル成人式は、1月9日(月・祝日)に熊本市が熊本城ホールで開催する「私たちの記念式典」に合わせ同日午後1時に開かれることになりました。なお詳細につきましては、該当するS73・J71回の卒業生の皆様に直接往復ハガキにてご連絡致します。

令和初で、史上最年少の三冠王に輝いたので、本塁打打点はダン・トツながら打率が終盤に落ちたものの首位を保ち、こちらのタイトルも最後の試合で決めるという劇的な結末でした。また、これまで誰も成しえなかった5打席連続ホームランの新記録も樹立し、出塁率もトップというのですから実に驚きです。

プロ5年目の今シーズン、野球ファンのみならず誰しもが注目する目覚ましい活躍を続け、今や日本プロ野球史上屈指の打者となったことは同窓生の誇りと言えます。

村上選手はプロ野球オールスターのファン投票でもトップに選ばれ、7月のプロ野球の夢の球宴「マイナビオールスターゲーム2022」には、監督推薦で選出された九学OBの横濱DeNAベリースターズ伊勢大夢投手(S68回・明治大卒)と同じチームで出場して

6月23日、東京・後楽園ホールで行われたプロボクシング日本バントム級タイトルマッチで、堤聖也選手(角海老石)が同級王者沢田京介選手(JBS)

9月13日、栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」に弓道の沖繩代表で出場した、

9月13日、栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」に弓道の沖繩代表で出場した、

7月24日、将棋の第69期肥後名人戦(熊日主催)3番勝負第2・3局が熊本市中央区上通町の熊日倶楽部で行われ、第1局を落としていた森崎盛一朗肥後名人(S64回)・2012年卒・五段が挑戦者の沖崎憲治五段に連勝し初防衛に成功しました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

話題となりました。九州学院が2015年夏の甲子園に出場した際は伊勢選手が3年生、村上選手が1年生という間柄でした。今後も九学同窓のプロ野球選手皆さんの活躍が大いに期待されます。

9月13日、栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」に弓道の沖繩代表で出場した、

7月24日、将棋の第69期肥後名人戦(熊日主催)3番勝負第2・3局が熊本市中央区上通町の熊日倶楽部で行われ、第1局を落としていた森崎盛一朗肥後名人(S64回)・2012年卒・五段が挑戦者の沖崎憲治五段に連勝し初防衛に成功しました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

7月2日午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会が3年ぶりに開催され、新卒約30名の大学生から88才の大先輩までの東京在住の同窓生、熊本からも小副川幸九九州学院院長、廣島鳥二九州学院同窓会新会長(S26回)など110名が参加し大いに賑わいました。

「内田貞信会長(再任)を全力でサポートし、引き続きクリーンな組織づくりに取り組み、復旧活動にも力を入れて競技の認知度を高めた」と抱負を語りました。現在、九州連盟理事長と熊本県連盟副会長を兼務し日本のアマチュアボクシング界の重鎮として活躍しています。

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

九州学院ボクシング部の木庭浩一監督(S28回・1976年卒)は、この度アマチュアを統括する日本ボクシング連盟の副会長に選ばれました。任期は2024年までの2年間で、2018年から2期4年間は理事を務めていました。木庭監督

女子部会の新名称が「リディア会」に

「2022同窓会総会」(4月22日)で承認された、九州学院同窓会女子部会(後藤佑佳子会長・S49回)の正式名称が「リディア会」に決まりました。

「リディア」は、新約聖書「使徒言行録」に登場する女性の名前です。彼女は使徒パウロと出会いキリスト者になり、「喜びの教会」と言われる「フィリピの教会」を設立したと考えられる女性です。九州学院同窓会女子部会の方々が、それぞれの苦勞の多い状況の中で、リディアのように多くの人を支え、よく理解して喜びに満ちた人生を送られることを願ったものです。

7月8日の夜、内牧の阿蘇プラザホテルに於いて「九州学院阿蘇中部同窓会」を開催

九学CDP(キャリア・ディベロップメント・プログラム)など多彩な企画

学校内外で生徒が積極的に活動を展開

①東京大学教授による特別授業

7月27日(水)、九州学院3号館ホールにおいて、東京大学教授による高校生への特別授業が行われました。

初めに、東京大学大学院工学系研究科の脇原徹先生からは『環境問題に貢献するゼオライトを作り、使う』と題して、温室効果ガスを吸着するゼオライトという物質の特長や今後の活用方法について講演いただきました。

②一般選抜受験者向進学講演会



7月19日(火)、九州学院1号館会議室において、九学CDPの一つである「アカデミックワークショップ」として、国公立大学や私立大学の一般選抜受験を予定している高校3年生を対象にした特別講演会が行われました。

今回は、河合塾グループの医系専門予備校メデイカルラボ様より可児良友先生を講師にお迎えして、生徒に講演いただきました。

③SDGs チャレンジショップ



九州通信第133号(九州学院ウェブサイト掲載中)で紹介しました、昨年10月5日、3月に本校生徒有志18人が取り組んできた『まちなかで実際にSDGs チャレンジショップ』は、新

少ない野菜)の販売をメンバーが行い、用意した野菜は感謝のうちに完売となりました。多くの皆さまに規格外野菜の存在を知っていただき、SDGs についての啓蒙活動を行うよい機会を提供することができました。ご来場いただきました皆さまならびに各場面でご協力をいただきましたご関係の皆さまにも、厚く御礼申し上げます。

④熊本宇城高校生プロジェクト

一昨年度より、一般社団法人みらい設計Lab様のご協力をいただき熊本県内の高校生が地域課題解決に向けた取り組みを行う「高校生地域課題解決プロジェクト」の一つである「熊本宇城高校

レフレ)マルシェ」を開催しました。リニューアルされた宇城市不知火図書館を会場にして行われた各企画には、たいへん多くの皆さまに来場いただきました。



この日の講演会から約半年後には大学入学共通テストを皮切りに

九州学院では中高ともに、生徒一人一人の学習到達状況や希望進路に応じたきめ細やかな学習指導また受験指導を行っております。



23日(土)は宇城市に縁のある方々によるファッション

活躍が期待されます。

2023年度入試情報(高等学校)

●奨学生(A・B・C)【入試日:2023年1月18日(水)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語(リスニング含む)
【特典】奨学生A...入学時納入金を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を負担もなし。特に優秀な若千名には九州学院ナルドの壺基金より月額10,000円(自宅外生は月額20,000円)を授与する。

2023年度入試情報(中学校)

●奨学生(A・B・C)【入試日:2022年12月3日(土)】
【試験教科】国語・算数(各100点)、社会・理科(各50点)
【特典】奨学生A...入学時納入金100,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を相殺支給する。特に優秀な若千名には九州学院ナルドの壺基金より月額10,000円(自宅外生は月額20,000円)を授与する。

第9回プライン・メモリアルコンサート

6月19日(日)に九州学院3号館ホールで開催いたしました吹奏楽部定期演奏会「第9回プライン・メモリアルコンサート」にたいへん多くの皆さまにご来場いただきまして、誠にありがとうございました。



